

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	特別支援教育就学奨励援助事業		
事業担当	学校教育部 学務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等	盲学校・聾学校及び養護学校への就学奨励に関する法律		
対象・受益者	特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働:		
	目的・目標		事業の概要
特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、その負担能力の程度に応じた援助をすることで、保護者の経済的負担を軽減します。		特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、その負担能力の程度に応じた援助をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	支給認定件数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	145	145	150	150		
	実績	136	146	140			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	適切に援助が行われている割合				単位	%
	説明・算定式	支給件数÷援助対象件数×100					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	100	100	100	100		
	実績	100	100	100			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し制度を周知し、申請に基づく認定審査を行い、認定した保護者に就学奨励費を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図りました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	法律に準じて補助を行うものであり、市の教育委員会で行う必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業を継続し、保護者の経済的負担を軽減することにより、児童生徒の就学の機会を確保することができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、世帯の所得区分に応じた援助をするもので妥当と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	国庫補助事業(市の単独事業一部有り)であるため、国の基準に合わせることからコスト削減はできません。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		この事業は国庫補助事業であるので、国の要綱(平成24年度に一部改定)に準じた事業実施をしなければなりません。要綱改定の内容を確実に把握し、適正な事業実施をする必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		就学奨励費の援助	就学奨励費の援助	就学奨励費の援助	就学奨励費の援助
財源内訳	国庫支出金	1,320	1,438	1,333	2,218
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	3,145	3,459	3,289	3,559
事業費 (A)		4,465	4,897	4,622	5,777
執行率 (%)		91.05	99.86	84.04	
内訳	職員 (人)	0.40	0.30	0.35	0.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		3,343	2,478	2,837	2,806
フルコスト (A+B)		7,808	7,375	7,459	8,583

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	事務改善による事務の効率化を図ることにより、適切に援助を行います。
課長コメント	特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減する。義務教育履行のため事業を継続していくことが必要と考えます。